

平成15年12月 検定試験

〔No.15〕 直列4気筒ディーゼル・エンジン用のコモン・レール式高圧燃料噴射システムの記述として、  
不適切なものは次のうちどれか。

- (1) サプライ・ポンプは、インナ・カムの内側に二つのプランジャ・システムが直列に水平方向と垂直方向に配置されており、一方が吸入行程のとき、もう一方は圧送行程になる構造になっているため、安定した燃料供給が行える。
- (2) コモン・レールに装着しているプレッシャ・リミッタは、レール部の燃料圧力により、目標噴射圧が一定になるようなレギュレータ機能を有している。
- (3) エンジン ECU は、各種センサからの信号を基に燃料噴射時期及び噴射量を ON ・ OFF 信号に置き換え、高電圧、高電流でインジェクタの電磁弁を駆動させている。
- (4) コモン・レールの圧力制御は、アクセル開度とエンジン回転速度をもとに目標噴射圧を算出し、レール圧センサの検出値が目標値になるように、サクション・コントロール・バルブに信号を送り、サプライ・ポンプからコモン・レールへの燃料圧送量を制御することにより行っている。